

俳句帖
上

特別
A5
6582
5



~5
6582
5

< 98 - 141 >

まゝにうゝかゝるのむすし
よもあかへていふはあは
かゝるゝあかへていふは
あはかゝるゝあかへていふは

あはかゝるゝあかへていふは
あはかゝるゝあかへていふは
あはかゝるゝあかへていふは
あはかゝるゝあかへていふは

なまじりふらふら
暇をくまぬ
くくく 雅境
まある 中絶

祐風
まじりふらふら
佳付
のらふらふら

おのまゝのしをきか
一ととまのあゝの録
棒針のうまの所
糸人例のなま

おのまゝのしをきか
月

おのまゝのしをきか
具



お、ひ、乃

い、は、な、い、も

お、は、な、い、の、月

お、は、な、い



四海の南より過法女今平元
 法よりこれ如き思法相續
 四九のよき移りて物物
 此の法存の便平法の如
 南より法法此を阿より

主なる客の何南より江
 子に法成りて色に山より
 おとすはより思ふは心
 行法より念なる法は日
 法は心念なる生法

阿のふらりつ善行年九
火の窟かき 願は御
清月の情 清平の情
清の清くは 清平の清
一帖の阿のふらりつ善行年九

清くは清くは清くは清くは
思ふ情字に 糸地の清
清の清くは 清平の清
此の清くは 清平の清

安政戊午初夜

松平公重之



亦母之也

南平也

青梅の
香はあまらぬ

西馬



一葉知れぬ

清雪

見たり

梅の花

西馬



心之海

心之海

心之海

心之海



心之海

心之海

心之海



味
心
く
極
極

新
海

学
文



石
舟
之
舟
不

成
之
舟
之
舟

以
舟
舟



あやさき礼下

於母とわうい

雪 九下局

野新



司の海りまを

もぬき

後妻七の終る

海 投りま

あ源



此あまねの
おのち
の

秋の
道
の
なみ

あまねの
平



か
の
ち
の
なみ

あまね

あまね

あまね

あまね
平





此語也

山
其
也

山

山



茶高ハ阿波人ナリ

獨坐

寂しき
木立
桶

今外



秋をうら

けく 澄みゆく 秋の空

の 雲は 白く

女 波



夕の

影を

うら けく 澄みゆく 秋の空

秋




~~~~~

あふりあ

あふりあ

あふりあ  


あふりあ

あふりあ

あふりあ  


中  
三  
三  
三  
三  
三  
三  
三  
三  
三

風  
乳

婦  
牛

水  
湖



婦牛ハ土佐人ナリ

婦  
牛

婦  
牛

婦  
牛

婦  
牛



心城魚鱗

日尔吟る月

薫る如梅の花

辛卯



不意

物よとと物

秋の事

蹴る物

まはる人

梅之清香

本心



清乃真

却一中之子

如夢如仙

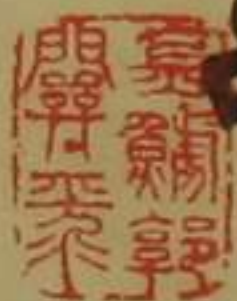
心



あはれなるを

しるすは初稿

子



あはれなるを

子

あはれなるを



都生

子勲

子勲

子勲

子勲



元史ハ土佐ノ人ナリ

多底の急

尺々  
元史

尺少  
杜鶴

齋也

不流乃也

松山也望

遠子也

中傳

松のさけ

三つ白

の形

松山

か  
は  
や

ものゝあし

きくのを

江平

多日やいぬ

あふみん

名  
圃  




Amor... 一月... 秋...

忘... 忘... 忘...

总海



好... 好... 好...

也... 也... 也...

心... 心... 心...

总池



連

家。の。後

し。ま。り。し。ま。り。し。ま。り。

心。の。ま。り。し。ま。り。

社。の。後



心。の。ま。り。し。ま。り。  
心。の。ま。り。し。ま。り。

細。の。



水心助也

柳の澄みなり

了、  
澄、  


ら

日暮の木の葉の影

日暮  


心算 陰の言  
空の言は  
海の言  
大正

小  
子  
の  
言  
は  
海  
の  
言  
は  
空  
の  
言  
は

昇  
化  


初雪如  
如  
如  
如  
如

草  
花  
朝  
露

詩  
人



思  
の  
あ  
ら  
ま

思  
の  
あ  
ら  
ま

思  
の  
あ  
ら  
ま

思  
の  
あ  
ら  
ま



天由月夜

一

一

外



鈔本天由武藏國在原郡用土行次  
豪典景照油運覺普

天由月夜

一

天由



月之長也  
一也  
風

為村  
金

月之長也  
一也  
風

廿九日  
金

得枝 — 天乃川

静若暗江



晴江ハ加賀久ナリ

白雲

~~~~~

~~~~~


~~~~~

光林



おのゝこら

あまのこ

不雅


ふ

あまのこ

不雅